

東京ランチ年次総会

6月6日(土) 13:30から
新宿区大久保地域センター
(JR 新大久保駅またはメトロ東新宿駅)

2008年度の活動を総括し、2009年度の計画を討議するたいせつな年次総会です。みなさん大勢のご出席をお願いいたします■

菊池孝さんに第4回ランチ賞

4人目となる東京ランチ賞は会員からの推薦をもとに、菊池孝さんが受賞されました。

菊池さんは日本人で最初期(1970年)にセント・アンドルーズのサマースクールに参加され、日本におけるスコティッシュ・カンントリー・ダンシング普及のさきがけとなりました。

ダンシングとともに音楽にも深い関心を寄せられ、当時から多くのLPレコードを収集し、同時に楽譜、文献も多数入手されました。さらにフィドル、アコーディオンをランチ行事で機会あるたびに演奏されていることは、みなさんもよくご存知です。菊池さんの活躍は地方でSCD活動をやっている人たちの大きな励みになっています。

3月21日、25周年記念 WeekendにおいてRSCDS 会長アレスター・マクファジェンから菊池さんにランチ賞が手渡されました■

ランチ出版物遅れのおわび

ランチレターおよびマガジン日本語版の発行が送れ、申しわけありません。担当の体調不良ならびに多用がつづいたためですが、他ランチではとうに日本語版を受けとっているのに、とみなさんからきびしいおしかりをいただきました。やっと落ち着いた気配なので、これからはこのようなことのないよう、着実にやってゆく所存です■

東京ランチ・クラス

(会場はそのつど変わります。ランチニュースをご参照、または担当にお問合わせください)

ランチ財政の健全化が定常的になったため、各ランチ・クラスの会費を2002年以前の額、500円に戻します。

ビギナーズ・クラス

6月8日(月)・22日(月) 1.30-4.00
以降毎月第2・第4月曜日
千代田区総合体育館5F
講師 神倉那智子・掛川純子 ¥500
¥500/クラス
担当 岩瀬よし子 043-232-4174

インターミディエイト・クラス

6月1日(月) 1.30- 講師 近藤幸子
千代田区総合体育館5F
7月6日(月) 渋谷明美
8月3日(月) 長峯真弓
9月7日(月) 掛川純子
¥500
担当 青木幸子 03-3207-7856

アドバンスト・クラス

6月6日(土) 6.20-8.45 講師 林浩子
昌平童夢館2F(秋葉原)
7月4日(土) 中田多鶴子
8月1日(土) 近藤幸子
9月5日(土) 小山かおる
¥500
担当 寺久保ヒロ子 03-3801-6139■

東京ランチ 25周年記念品

前号でランチ・ロゴ入りの「Tシャツ」とおつたえしましたが、広く着ていただける「ポロシャツ」に変えました。6月中旬までに2008年度会員のお手元にとどくよう手配を進めています■

2010年に資格試験

日本におけるティーチャー資格試験は 2010 年 4 月～5 月に行なわれます。3 ブランチ合同試験委員会 (JEC-2010) からの連絡によれば、ユニット 2&3 のチューターはアン・ディックスとアン・スミスの 2 名、ユニット 5 のチューターはブルース・フレイザーで、トレーニングは栃木県日光地区、試験は東京地区で実施されます。

JEC-2010 は受験者名簿を本年 7 月 20 日で確定します。受験を希望するかたはこの日までに試験委員またはブランチ・セクレタリまで申し出てください。

JEC-2010 メンバー

試験委員長	吉澤敦子	(東京)
セクレタリ	近藤ゆう子	(東海)
トレジャラ	綾部まゆみ	(埼玉)
委員	寺久保ヒロ子	(東京)
	増田祥子	(東海)
	掛川純子	(埼玉) ■

東京ブランチ運営委員

チェアマン	トム鳥山	044-988-7773
セクレタリ	西森典子	043-485-2528

bon-accord24wood@kfy.biglobe.ne.jp

トレジャラ	篠塚昌子	029-855-4728
-------	------	--------------

メンバーシップ・セクレタリおよび

ニュース担当	三木真	0466-81-9961
--------	-----	--------------

理

enoshima.thistle@extra.ocn.ne.jp

委員	青木幸子	03-3207-7856
	岩瀬よし子	043-232-4174
	鈴木幸子	045-983-1010
	寺久保ヒロ子	03-3801-6139

ウェブサイト	吉澤敦子	029-841-0767
--------	------	--------------

ブランチ 25 周年記念で CD 制作

3 月の 25 周年記念ウィークエンドで記念となるダンス 2 つが発表されました。

Tokyo Twenty Five (32-bar Reel)

これは来賓として来日した RSCDS 会長、アレスター・マクファジェンが「東京ブランチにプレゼントしたいので、記念のダンスを創作してほしい」と友人のアラン・マクファーソンに依頼し、アランが作ってくれたリールです。

Hana Strathspey (32-bar Strathspey)

25 周年記念ボールのプログラムに Miss Gibson's Strathspey があり、オルタナティブ・チューンとして滝廉太郎「花」が演奏されました。曲のすばらしさと、ダンサーが口ずさみながらダンシングしている姿に感銘をうけた RSCDS チェアマンのアレックス・グレイ、夜を徹してこのストラスペイを作り、最終日に披露してくれました。

両ダンスとも既存のダンス用録音音楽はありません。2 つのダンスがポピュラーになることを願ってブランチでは CD 制作を決め、準備を進めています。

演奏は小海弘子さん (ピアノ)・村山由美子さん (フィドル) です。

音楽著作権については日本音楽著作権協会 (JASRAC)、作曲者本人および英国 MCPS から書面による使用承認を取得しました。著作権使用料その他諸費用がわかったのち CD 価格を算定し、そう遠くないうちにみなさんにご案内することにしています ■

RSCDS Book for 2010 用に Tokyo Twenty Five を提出

ここ 4 年間、本部はリーフレット形式で新ダンスを発表してきましたが、会員の強い要望により、2010 年は以前のブック形式で新ダンスを発表します (ただし有料)。本部は各ブランチにたいし 9 月 4 日着で、1 ダンスの提出を求めています (以上 Scottish Country Dancer 第 8 号)。

東京ブランチ委員会で討議した結果、ブランチはこの機会に本部に Tokyo Twenty Five を提出します。

1. 踊りの内容が比較的平易で、いいダンスである。くわえて、
2. なかほどの動き、Gypsy がユニーク。
3. 採用されれば、東京ブランチここにあり、が世界に浸透する ■

運営委員会報告

11月1日

1. 25 周年記念品に T シャツを配布することにしてしたが、ブランチ会員で T シャツを着る人は多くないと予想され、費用面からもロゴシャツ配布可能と考えられるのでロゴ入

- りポロシャツ配布に変更した。
- 25周年記念 Weekend におけるミュージシャン分担、ケイリの出演申出で状況（いまのところゼロ）を確認し、ケイリについてはさらに募集継続を決めた。
 - New Year Dance 2009 の予算を確認し、参加費を決めた。MC 2名を決めた。
 - トム鳥山功労賞受賞祝賀会(11/23)の参加者数を確認。時間割などを最終確認した。
 - 本部関係では、大幅赤字の反省から専務理事をおくことにしたとの本部連絡あり。
 - 25周年行事の1つとして、2009年7月オーストラリア・ウィンタースクール・ツアーを実施することにし、12月に会員にチラシを送る。

12月6日

- トム鳥山功労賞受賞祝賀会は、細かなエラーはあったが、終わりまでライブ音楽で踊れてよかったとの感想。収支もほぼとんとんの見込み。
- 25周年記念 Weekend のホテル側との調整結果を加藤沙彌子さんから聞き、クラビノーバ借用など細部を確認した。時間割を確認し、リカップのみを念頭においたダンス・プログラムは1月委員会で決めることにした。
- New Year Dance 2009 は時間割などを確認した。
- ブランチ賞は2名の推薦があり、討議の結果、菊池孝さんに贈ることを決めた。
- ブランチ・クラスの会費額やティーチャー割引制については今後話し合うことにした。

1月10日

- New Year Dance 2009 の最終確認。委員集合時刻などを確認した。近ごろダンス会のマナーが乱れているとのティーチャーからの指摘があり、New Year ではあるが参加者に注意を喚起することにした。
- 25周年記念 Weekend の申込者数は48名。強力に宣伝することで一致した。アレックス・グレイから第三者を通じて細部日程、指導ダンスのレベル、ドレスコードなどはどうなっているのかとの問い合わせあり。いままでこちらから種々アレックスに質問しているのに返答なく、第三者から問い合わせを伝聞するのは心外であるが、委員会意図は Weekend を成功させることであり、体面よりも実利を優先させ、アレックスに細部を急ぎ連絡する。
ソシヤル、記念ボール、ケイリ・ダンシングのプログラムおよびMC候補を決め、MC候補の了承を得ることにした。

- 1月末に開かれる3ブランチ3役連絡会で2009年度本部会費統一が話されるが、東京ブランチとしては¥2,700を提案する。かつ、2008年度本部会費は急激な円高ポンド安のため大幅な為替差益が生じたため、2008/2009継続会員には¥1,000を減額することに決めた。
- オーストラリア・ウィンタースクール・ツアーは催行人員に達した。

2月7日

- New Year Dance 2009 の反省。マナーを喚起したが、New Year Dance の場で行なうのはいかがかという声があったとのこと。13:30開始としたが、13:00開始でもよかったのではないかとの意見も。
- 25周年記念 Weekend の参加者数は117名。MCはアレスター・マクファージェンも含めて候補者からOKを得た。委員および支援者の役割分担を決めた。アレックスから指導ダンスの連絡が遅れているので督促する。
- 3ブランチ・クラス講師をアンケート結果にもとづき決めた。あらためてOKを得ることとする。講師はこのところ同じ顔ぶれであり、一新のため、今回は委員会から指名し、都合を聞いた上で決めることにしたい。
- 2009年度本部会費は3ブランチ3役連絡会で¥2,500に決った。2008/2009継続会員の¥1,000減額は既定方針どおり。
- 2010年 Weekend の会場候補、アバ・ホテル&リゾートの見積結果は高額なため、他をあたることにする。時期としては昨年の国立女性教育会館の反省をふまえ、5月末・6月初め、2レベルのコースでやりたい。

3月7日

- 25周年記念 Weekend の申込み122名。加藤・三木がホテルに事前におもむき、細部をつめる。アレックスから指導ダンス連絡あった。アレスターから祝辞原稿到着し、これに Exams 1989 のエピソードを追加してくれるよう依頼する。ブランチはなにも頼まなかったが、アレスターの依頼によりアラン・マクファーンソンが25周年記念にと Tokyo Twenty Five を作ってくれたので、アレックスにクラスで指導してくれるよう頼む。持込品その他細部を決める。Weekend 前後の観光日程を確認した。
- 4月アドバンスクラスは学校行事で童夢館不可となり、急ぎ港区男女平等参画センターで行なうことになった。会員の厚意によるもので、本来又貸しは絶対に許されない。会員

による会場への問合せはしないよう徹底する。

3. New Year Dance 2010 は前回どおり赤羽会館を予定する。7月の予約抽選日にはランチから2名を派遣する。

4月4日

1. 25周年記念 Weekend の反省。アンケート集計結果によれば、細部にミス、エラーはあったものの、総合的にはいい雰囲気 Weekend であった。新ダンス Tokyo Twenty Five と Hana Strathspey が錦上花を添えた。
2. ブランチとしていままで世話になった人に記念品(ポロシャツ)を贈呈する。田村美恵子さん、クレメントさん夫妻、レスリー・マーティンなど41名である。
3. 2009 年年次総会は大久保地域センターで開催する。後半は狭い会議室に移動することになるがやむをえない。
4. Tokyo Twenty Five と Hana Strathspey は CD を制作し、希望者に有料で販売する。演奏は小海弘子(ピアノ)と村山由美子さん(フィドル)。音楽著作権については JASRAC に正式に使用許諾を申請する。英国曲の権利者を調査する。
5. 2009 年度会員登録状況は約 300 名。ウツカリぼんやりの会員もいると思われ、4月のランチニュースで改めて登録促進する。
6. ブランチ・クラス会費は財政健全化が軌道にのっているのので4月から会員¥500・非会員¥700に値下げする。
7. 本部は Graded Book 2 を今夏出版予定で、その候補ダンスを募集中。Tokyo Twenty Five を提出する。
8. マガジン日本語版第7号とランチレターの発行遅れについて各委員から苦情噴出した。担当から謝罪と可及的速やかな発行表明あり。

5月2日

1. 25周年記念 Weekend の収支報告。当初赤字覚悟だったが、為替変動による航空運賃の減額、観光時の英国人食事負担などによりいくらかの黒字となった。参加取消者への返金は時期・額とも今後の課題とした。
2. CD 制作は JASRAC から全曲の著作権使用許諾を得て録音を終え、原盤編集中。英国の著作権は JASRAC を通じて使用料を払う。原盤からの複製はレーベル印刷も含んで専門業者に依頼したほうがよいと考える。
3. 2009 年年次総会資料案を討議し、会員への議案書発送時期を5月下旬とした。議長などの担当案を決めた。

4. 2010 年 Weekend は年次総会を兼ねたものにし、6月4日～6日でレイクホテル西湖を予約した。費用は¥25,000 程度を予定。近日中に現地調査を行なう。
5. 2009 年度会員登録を締切った。会員数は2008年度とほぼ同数の351名。
6. マガジン8号によれば、本部は2010年にブック形式で新ダンスを発表する計画で、そのため各ランチに新ダンス提出を呼びかけている。Tokyo Twenty Five は Graded Book 2 よりも2010年ブックのほうが望ましいので、こちらに応募する。
7. マガジン日本語版第7号はやっと印刷にまわった。ランチレターも追っかけ編集中。
8. 試験委員から、ユニット2&3の受験予定者数が20名を超えるため、アン・ディックスに加えアン・スミス(アン・ディックスの紹介)がチューターになるとの報告。試験委員会は7月20日で受験予定者を締切る■

25周年記念 Weekend 終る

11月の鳥山豊喜功労賞受賞祝賀ダンス会(100名)および1月のNew Year Dance 2009(110名)に引き続き、箱根のホテル花月園で開かれた東京ランチ25周年記念 Weekend はゲストに RSCDS 会長アレスター・マクファジェンおよびチェアマン夫妻のアレックス&ケート・グレイを迎えて、2009年3月20日～22日に盛大に行なわれました。

20日はアレックスとケートによるクラス(午後)、箱根町立アリーナにおけるソシャル・ダンシングがあり、21日はクラス(午前)のあと、午後からはアリーナで記念ボールが開催され、アレスターの祝辞を得て25周年を祝いました。夕食後はランチとしてははじめてのケイリ・ダンシングが行なわれ、ハンドベル演奏、民族舞踊、SCD デモ、その後の懇親会とともに大いに盛り上がりました。ケイリ・ダンシングはこれからの Weekend で定例となるかもしれません。

22日午前にはケート、ついでアレックスによるクラスが行なわれ、Hana Strathspey が踊られました。最終日は雨風ともに強いなかの解散となり、休日の交通渋滞に巻きこまれましたが、みなさん満足して帰路につきました。

アンケート結果の一部を紹介します。

総体的に よかった … 80%
ふつう …… 20%
よくない … 0%

その他の意見としては

- ・参加者のレベルが高く、つぎの Weekend に新人をさそうのはためらう
- ・ダンス会はリカップだけでまごついた
- ・ウォークスルーがなくてよかった
- ・ケイリ・ダンシングは会場の狭さゆえの楽しさがあつた
- ・スタッフの働きに感謝する

Weekend クラスにおける講習ダンス

3月20日

Homecoming Dance	RSCDS 2009
Merlin's Thorn	Gray/Tweeddale 3
Minard Castle	RSCDS 22
The Gentleman	RSCDS 35
The Border Weavers	Gray/Tweeddale 2

3月21日

Grassmarket Reel	RSCDS 2009
The Reverend	
John MacFarlane	RSCDS 37
Tokyo Twenty Five	Macpherson
Edina's Pride	Gray/Edinburgh
Moment of Truth	RSCDS 37

3月22日

Alison's Round Reel	Gray/Tweeddale 2
The Old Clarsach	Gray/Tweeddale 1
Rachan Mill	Gray/Tweeddale 1
Miss Becky Flower	Gray/Tweeddale 2
Hana Strathspey	Gray/Leaflet
The Mathematicians	Gray/Tweeddale 2

ブランチ 25 周年おめでとう!!

RSCDS 会長アレスター・マクファジェン

RSCDS 東京ブランチ会員の皆さん、まず最初に私はこのお祝いの言葉を日本語で述べる事ができないことを残念に思います。

皆さん、このプレジデントのバッジがスコットランドを離れるのは初めての機会であると知ってびっくりされたことでしょうか。そう、私が強く期待していたのと同じく、このバッジもこの訪問を待ち望んでいたと確信しています。

ケイト、アレックス、そして私は特別お祝いの Weekend に皆さんとともに出席でき、喜んでいきます。私達への招待と暖かい歓迎に感謝しています。

25 年の達成おめでとう、そして 25 年間 RSCDS をよく支えてくれたことに感謝します。世界中におよぶスコティッシュ・ダンサーの会員に価値ある豊かな経験を、東京やそのほかのところでスコティッシュ・カントリー・ダンス



ングを推進し支えてきた皆さんの努力に大いに感謝しております。私達は次の 25 年もよい結果ができることを祈っております。

個人的なことでは以前日本を訪れた時を楽ししく思い出します。1983 年の初めての訪問で私はミスタ池間や多くの人と初めて会う機会がありました。

再び来日したのは 1989 年でブランチが計画したのはじめてのティーチャー・トレーニング・コースの受験生の試験をするためでした。これはブランチの進歩と発展に重要なステップでした。このとき私はミュージシャンのミス・ジーン・シムと仲間のイグサミナーのアレスター・エイケンヘッドと一緒にいました。私達が見たダンシングやティーチングの水準にとっても感心しました。全員合格したことによりブランチにとって大きな誉れとなりました。

ミス・シムやミスタ・エイケンヘッドと会うといつも東京滞在中のとても楽しく愉快に過ごしたことを思い出します。多分この Weekend に参加している何人かは 1989 年に来たイグザミナーたちがソーシャル・ダンシングの夕べを非常に楽しんでいたことを覚えていることでしょう。ミス・シムの演奏、およそ 100 人のダンサー達が出席して思い出深い訪問にふさわしい締めくくりでした。

私の日本訪問の大切な思い出と同様にスコットランドへ最初に来た日本人のこともはっきりと思い出します。それはミスタ島田とミスタ中山で、彼らは 1957 年にセントアンドリュースの RSCDS サマースクールに参加しました。ミスタ・ビル・クレメントも、1957 年のサマースクールに参加していましたので、彼らの訪問の記憶ははっきりしております。ケイリで彼ら二人の紳士たちは炭鉱節のダンスで私達を楽しませて、わずかな英会話にもかかわらずカミング・スルー・ザ・ライやオールド・ラング・サインなどのスコットランドの歌で私達を

喜ばせてくれました。1957年の初めての訪問以来、スコットランドと日本との間でダンサー、ティーチャー、ミュージシャンたちの交流がふえてきました。ずっと長くつづくことを祈っております。

あなた方の仲間の一人のミスタ菊池はスコットランドへ1970年サマースクールに参加するために訪れました。きっと皆さんは過去何年も彼がスコティッシュ・カントリー・ダンスを日本で発展させるためにたゆみなく努力をされたことをご存知だと思います。フィドラーとして、アコーディオニストとして、熱心にレコード・ミュージックや楽譜を集めて、東京ブランチャやその他のグループが行うクラスやソシャルで音楽を演奏してきました。東京から遠く離れた地方にいるダンサーやティーチャーに貴重な支えや勇気をあたえてきたことは特に賞賛に値します。彼がスコティッシュ・カントリー・ダンシングのためにされたことを評価して、今わたしは喜んでミスタ菊池に東京ブランチャ賞を授与します。

皆さんどうもありがとうございます。さあ今から音楽とダンスをみんなで楽しみましょう

ブランチャ・クラスで踊ったダンス

ビギナーズ・クラス 境雅子・佐藤仁美

11月10日

A Reel for Jeannie	Bk 40
A Jig for Mrs Dunn	Children
Highland Fair	Gr Bk
Rakes of Glasgow	Bk 11

11月24日

Bonnie Geordie's Wig	MMM
Captain White	MMM
Lady Glasgow	Gr Bk

12月8日

Jessie's Hornpipe	Bk 8
Monymusk	Bk 11
Scots Bonnet	Bk 10

12月22日

Balmoral Strathspey	Bk 22
Lady Dumfries	MMM
Isle	Gr Bk

1月26日

Berwick Johnnie	Gr Bk
Inverneill House	Bk 35
Braes of Tulliemet	Bk 7

2月9日

Maxwell's Rant	Bk 18
Merry Dancers	Bk 4
Inch of Perth	Bk 11

2月23日

Mrs Stewart's Jig	Bk 35
Balquidder Strathspey	Bk 24
Miss Clemy S Reel	Bk 9

3月9日

Lady Lucy Ramsay	MMM
Sugar Candie	Bk 26
Miss Mary Douglas	Bk 10
Edinburgh Castle Reel	Children

3月9日

EH3 7AF	Bk 41
Monymusk	Bk 11
Miss Clemy S Reel	Bk 9
Scots Bonnet	Bk 10
Maxwell's Rant	Bk 18
Jessie's Hornpipe	Bk 8
Culla Bay	Bk 41
Deil amang the Tailors	Bk 14

インターミディエイト・クラス

11月3日 渋谷明美

Miss Ogilvie's Fancy	Bk 20
Saltire Society Reel	Lflt
Corstorphine Fair	Hunter

12月1日 神倉那智子

Major Ian Stewart	Bk 35
General Stuart's Reel	Bk 10
From Scotia's Shores	Lflt

1月5日 神倉那智子

Starry Eyed Lassie	Bk 23
Summer Wooing	Bk 38
Golden Wedding Strathspey	Bk 33

2月2日 長峯真弓

Rudha Dubh	Bk 23
Loch Leven Castle	Bk 21
Auld Lang Syne	Bk 27

3月2日 長峯真弓

Triumph	Bk 1
Storie Miller	Bk 21
Waggle o' the Kilt	Cosh
Kiss Me Quick, My Mither's	
Coming	Bk 12

アドバンスト・クラス

11月1日 境雅子

Auld Alliance	Bk 23
---------------	-------

Haddington Assembly
Spirit of the Dance
Wedding Link
McGregor's Reel

Henderson
Paterson
Christie
Attwood

12月5日 若松陽子/市川洋子

Mrs Hill's Delight	Bk 28
Queen City Salute	Bk 37
Haig of Bemersyde	5/1982
MacLeod of Tobermory	Cosh

1月10日 五十嵐成子/村上美枝子

Off She goes in the North	Bk 18
London Burning	Tartan R.
Lady's Briest Knot	Bk 10
Shipwreck	Rae
Clydebuilt 85	Glasgow 85

2月7日 小幡正明/市川洋子

Leap Year	Gr Bk
Lads of Saltcoats	MMM
My Friend Jo	Bk 38
Lady Mary Douglas	Imperial 1
Peggy Reel	Colenbrander

3月7日 林浩子/市川洋子

Genevieve's Jig	Bk 32
Argyll Ludging	Bk 36
Old Clarsach	Glax
Rover's Return	Priddey
June's Jubilee Jig	Gaze
Miller of Sessnie	Goldring

本部アンケートへの回答

昨年11月到着のマガジン第7号にアンケート質問用紙が同封されていました。ブランチで急ぎ邦訳をつくり、会員に回答をお願いしました。22名の会員から回答があり、本部に送付しました。

今回のマガジン8号に回答結果集計と分析が載っています。マガジンの読まれ方について、わがブランチと世界全体の比較はつぎのとおりです。

	ブランチ	世界は
ぜんぶをよく読む	14%	25%
ほとんど読むが、目をと		
おすだけのものもある	45%	38%
読むのは少し、目をと		
すだけのものが多い	36%	26%
ざっと目をとおすだけ	5%	11%
もらうだけで読まない	0	0

Gates of Edinburgh の 両手ターンのやりかたは？ —テクニック Q and A—

RSCDS ウェブサイトの「Dance Query?」で会員からよせられたステップ、フォーメーション、ダンスの質問に答えています。今回そのなかから4つのダンスのQ and Aを紹介します。

The Gates of Edinburgh

Q: Bars 21-24 で 1st couple は両手で 1-1/2 回転して own side へもどるが、このやりかたは？

A: Advance (1 bar)、turn 3/4 (1 bar)、turn 1/2 (1 bar)、retire to own side (1 bar)である。

Machine without Horses

Q: Bars 17-24 の終りで 2nd couple が 1st place に入るとき、ストレートに入るのか？ それとも回りながら入るのか？

A: 2nd couple はパートナーと顔を合わせながらストレートに入る。これが Broadford Bay とは異なるところで、Broadford Bay では cast off しながら入れ、となっている。

一般的な注意事項として、ダンス説明文に明示されている場合を除き、ダンサーは各ムーブメントに余分なループを入れてはならない。

Johnny's Welcome Hame

Q: Rights and lefts for 3 couples のあと bars 21-24 で 1st couple は cast off して spoke に移る。2nd couple の step up は bars 21-22 でやれと書いてあるが、すぐに step up するのか？

A: そのとおりである。Bars 21-22 で 1st couple は dance in and up し、2nd couple の開けた道をとおって spoke に移る。

Mairrit Man's Favourite

Q: Bars 9-16 について Book 24 の記述は、1st couple は 4th step 目にターンし、lead up, cross and cast となっている。他方マニュアル 6.17.2 項では 3rd step でターンしろ、となっている。どちらでやればいいのか。

A: マニュアルのやりかたでやってほしい。Bar 11 でターンすればつづく lead up, cross and cast を余裕をもって動くことができる■

The Flowers of Edinburgh ローズマリー・クープ（バンクーバー支部）

力強いチューン、The Flowers of Edinburgh は、われわれにこの音楽で踊ると要求しているかのようである。実際に、文献上最古の記録は 1748 年のウォルシュの本、Caledonian Country Dances 第 2 巻にある。数年後の 1757 年、トンプソンは同名同曲だがフィギュアの異なる踊りを出版した。1816 年にはトマス・ウィルソンがその音楽にたいして別の踊り方を著わしている。その人気は英国内に限られていたが、米国コネチカット州のエイザ・ウィルコックスの手書きダンス本（1793 年）には、ウォルシュのダンスを連想させる *Flowers of Edinburgh* が含まれており、1798 年にコネチカット州ノーウィッチで出版された *The Gentleman and Lady's Companion* にも別の *Flowers of Edinburgh* が載っている。

しかしながら、永続しているダンスといえば、スコティッシュ・カントリー・ダンスのそれである。ミス・ミリガンとミセス・スチュアートが 1923 年に Book 1 を出版したとき、*Flowers of Edinburgh* は当時踊り続けられていた数少ないダンスのうちの 1 つだった。フレッツの後年の研究によれば、19 世紀の終りから 20 世紀のはじめにかけてスコティッシュ・ダンシング・マスターたちはこのダンスを教えており、そのほかのポピュラーなダンスといえば *Petronella* と *Triumph* のみであったと述べている。

スコティッシュ版のこのダンスには 150 年以上の歴史がある。フレドリック・ヒルなる青年は 1841 年のダンスノートに、アバディーン県のダンシング教室でこれを習ったと書いている。ヒルは男性が女性を追ってはじまるのが特徴（19 世紀はじめに好まれたやりかただった）とメモしているが、そのあとには *figure of eight, four hands round, rights and lefts* がつづいている。ヒルは巡回教師 2 人からこのダンスを習っており、かれは *figure of eight* のところで「アランのやりかた」と書き、小さなバリエーションをメモしている。かれのメモのはじめの部分を紹介する。

FLOWERS OF EDINBURGH

女性はターンし、2 couple 分ダウンしてクロス、男性側の後ろをアップし、パートナーズ・ブレイスに入る。同時に男性はかの女をフォローし、センターをアップしてパートナーズ・ブレイスに入る。

そのつぎの現存資料は、このダンスがいかに広く踊られていたかを示している。アイルランド、ダンダークのケート・ヒューズがつけていたノートで、1867 年からはじまっており、マスターのアーチボルド・トムソンから習った諸ダンスを記録している。そのときまでに *figure of eight* は「down the middle and up, poussette」（これは 19 世紀の紋切り型パターン）に変わっており、いまわれわれが踊っているフィギュアと同じである。

この標準型 *Flowers of Edinburgh* は 19 世紀末・20 世紀はじめにスコットランドで発行された 14 以上のダンス教本に載っている。（ただし RSCDS Book 1 が述べている 1827 年のブローニョの本には記載がない）。一部の教本にはチェイシングのあとのセッティングがない。また、ほかの教本はいまわれわれがやっているのとは異なるテクニックを示している。たとえば、マッケンジー本はセンターをマーチでダウンしろ、かつ *poussette* ではボールルーム・ホールで *two-step* で回れ、となっている。1910 年、スターリングで発行されたマッカイ本では、チェイス後の *figure of eight* が残っており、興味深い。

Book 1 版に *figure of eight* はないが、初期のイングリッシュ・ダンス集あるいはアメリカン・ダンス集に、その名前、曲とともに面影が残っているかもしれない。ウォルシュおよびウィルコックス本では *figure of eight* からのはじまっており、故セシル・シャープ〔イングリッシュ・ダンス界の巨人〕がワーウィック県で収集したダンスもこのやりかたであった。

チューンの *The Flowers of Edinburgh* には強勢のリズムがあり、スコッチ・メジャーないしホーンパイプの例としてよくとりあげられる。*Treepling* という踊りのテクニックを披露するために用いられていたということや、足でリズムをとるのに適していることもうなずける。

カントリー・ダンス *Flowers of Edinburgh* を教えていた 19 世紀のダンシング・マスターたちはまた、そのチューンで踊るソロ・ダンスも用意していた。望まれたらダンサーにその魅力を立証してみせた。先ほどのヒル君のノートにはカントリー・ダンスと、*high dance* の見出しつきでソロ・ダンスの 2 つが載っている。活発なダンスで、ふつうの 3 倍の速さで足のボール部分を出し入れするダンスである。その 21 世紀復刻版はハード・シューズで踊るエネルギーなダンスで、ヒル君のような若者向きのダンスである ■

